



三上 貴彦
大阪観光大学学長

グローバル人材には、清掃・家の普請などを
協調性が必要です。戦 共同で行っています

の当たり前しながら、
自分たちも作業を手伝
いました。そこで、子
供たちは協調して物事
に当たる風景を見、
「生きる才覚」のよう
なものや、人は一人で
は生きていくことがで
きないということを、
子供なりに、薄々は感
じ取ったものでした。
また、体力
や忍耐力も
身につける
ことができ
ました。
近年は、
このような村の生活は
失われ、人々のつなが
りは、昔に比べて、希
薄になってきました。
子供たちに、忍耐力や
協調性を身につけさせ
るために、学校教育の
役割が重要な時代とな
ってきています。
を、初等教育の段階か
ら学校教育の中に位置
づけ、学ばせる必要が
あると考えます。
本学の学生も、地域
の清掃活動や小学校の
生徒指導補助、本学の
オープンキャンパス・
スタッフなどとして、
ボランティア活動に主
体的に取り組んでいま
す。

グローバル人材の 育成に必要なもの

前の日本の田舎では、
隣近所がお互い助け合
って生活していきまし
た。

た。特に、農作業での
助け合いに「もやい」
と呼ばれた習慣があり
ました。

私の生まれた中国山
地の山村でも、10〜20
軒の家々を一つの単位
とした「常会」という
組織を作って、冠婚葬
祭はもちろんのこと、
農作業・道路の補修や

田舎の子供たちは、
小学生になれば、年齢
に応じた貴重な労働力
でした。家事を手伝い、
地域の共同作業にも参
加し、そこで父母や近
所の人々の働く姿を目
やボランティア活動

大阪観光大学 観光学部・国際交流学部

(併設校：明浄学院高等学校)

〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1
TEL.072-453-8222 <http://www.tourism.ac.jp>

国際交流学部BLOGをチェック!

<http://www.tourism.ac.jp/blog-cultural/>